

## 教 育 福 祉 委 員 会 会 議 録

開会日	平成 29 年 6 月 26 日（月）午前 10 時 00 分																														
閉会日	平成 29 年 6 月 26 日（月）午前 11 時 52 分																														
場 所	長久手市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室																														
出席委員	委 員 長 木村さゆり 副委員長 山田かずひこ 委 員 伊藤祐司 大島令子 佐野尚人 林みすず																														
欠席委員	な し																														
欠 員	な し																														
会議事件のため出席した者の職氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">市長</td> <td style="width: 50%;">吉田一平</td> </tr> <tr> <td>福祉部長</td> <td>中西直起</td> </tr> <tr> <td>福祉部次長兼福祉施策課長</td> <td>成瀬 拓</td> </tr> <tr> <td>福祉部次長兼長寿課長</td> <td>中野智夫</td> </tr> <tr> <td>課長補佐</td> <td>井上隆雄</td> </tr> <tr> <td>介護保険係長</td> <td>青山祐司</td> </tr> <tr> <td>子育て支援課長</td> <td>門前 健</td> </tr> <tr> <td>課長補佐兼子ども未来係長</td> <td>西本 拓</td> </tr> <tr> <td>課長補佐兼子ども家庭係長</td> <td>岡藤彰彦</td> </tr> <tr> <td>施設係長</td> <td>岩崎大輔</td> </tr> <tr> <td>教育部長</td> <td>加藤 明</td> </tr> <tr> <td>教育部次長</td> <td>川本晋司</td> </tr> <tr> <td>教育総務課長</td> <td>山端剛史</td> </tr> <tr> <td>課長補佐兼施設係長</td> <td>水野真樹</td> </tr> <tr> <td>専門員</td> <td>日置桂敬</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計 15 名</p>	市長	吉田一平	福祉部長	中西直起	福祉部次長兼福祉施策課長	成瀬 拓	福祉部次長兼長寿課長	中野智夫	課長補佐	井上隆雄	介護保険係長	青山祐司	子育て支援課長	門前 健	課長補佐兼子ども未来係長	西本 拓	課長補佐兼子ども家庭係長	岡藤彰彦	施設係長	岩崎大輔	教育部長	加藤 明	教育部次長	川本晋司	教育総務課長	山端剛史	課長補佐兼施設係長	水野真樹	専門員	日置桂敬
市長	吉田一平																														
福祉部長	中西直起																														
福祉部次長兼福祉施策課長	成瀬 拓																														
福祉部次長兼長寿課長	中野智夫																														
課長補佐	井上隆雄																														
介護保険係長	青山祐司																														
子育て支援課長	門前 健																														
課長補佐兼子ども未来係長	西本 拓																														
課長補佐兼子ども家庭係長	岡藤彰彦																														
施設係長	岩崎大輔																														
教育部長	加藤 明																														
教育部次長	川本晋司																														
教育総務課長	山端剛史																														
課長補佐兼施設係長	水野真樹																														
専門員	日置桂敬																														
職務のため出席した者の職氏名	議長 加藤和男 議会事務局長 福岡隆也 書記 飯田純子																														
会議録	別紙のとおり																														

委員長 開会宣言  
議長 あいさつ  
市長 あいさつ

**議案第 35 号 北小学校校舎増築工事請負契約の締結について**

教育総務課長 議案第 35 号について説明

林委員 落札率が 80 パーセントであり非常に安価であるが、どの部分で差が出たと考えるか。

教育総務課長 全体の金額で落札率を算出しているため、どの部分で差が出たかは現状では不明である。

林委員 前回の増築工事では太陽光発電設備を設置したが、今回は設置しないのか。

教育総務課長 今回は設置しない。

大島委員 今後エアコンを設置することになった場合、配線等の対応ができるような設計になっているか。

課長補佐 将来エアコンを設置する際、新たに躯体に穴をあける必要がないよう工事を行う予定である。

大島委員 外部トイレの目的は何か。

教育総務課長 生徒だけでなく学校を利用する団体等も使用できるよう校庭に設置するものである。

大島委員 校庭でクラブ活動をしている生徒だけでなく、学校を利用する近隣の人も自由に使えるということか。

教育総務課長 誰でも使用できるわけではなく、校庭の利用を学校側が許可した団体等が利用できる。

林委員 増築工事の図面を見ると廊下が広く確保されているが、北小学校の過密対策はどのように考えているか。

教育総務課長 廊下の幅は、学校施設の廊下の幅の基準等を参考にして、約 1.9 メートルを確保している。

大島委員 平成 29 年 1 月 14 日に開催した地元説明会の資料では、体育館の隣に防災倉庫があったが、その後どうなったのか。

課長補佐 防災倉庫については今回の増築工事には含まれていない。今回の工事が始まる前に防災倉庫の移設工事を行う予定である。

- 大島委員 平成 29 年 1 月 14 日の資料はどう理解したらよいか。  
教育部長 地元説明会では、既存の防災倉庫が校舎の増築予定場所にあり、移設が必要であることを示すため図に表示した。増築工事を夏休み期間中に完了するには、防災倉庫を先に移設する必要があるため、今回の増築工事とは別に防災倉庫の移設工事を安心安全課で行う予定である。そのため、今回の増築工事の図面には表示されていない。
- 大島委員 雁又川の近くであるがハザードマップ等を調べた上で設計しているのか。  
教育部長 基礎については地質調査を行っている。  
林委員 既設校舎改修工事について、職員室や保健室はどのように改修するのか。  
教育総務課長 児童の増加に伴い教職員も増加見込みである。職員室はスペースの拡大、保健室はレイアウトの変更を行う。
- 伊藤委員 石黒建設株式会社の実績はどのようなか。  
教育総務課長 実績としては、学校法人電波学園が発注した愛知工科大学の建設や名古屋市が発注した約 9 億 5,000 万円の公営住宅新築工事を受注している。
- 伊藤委員 尾張東部での実績はどのようなか。  
教育総務課長 実績はない。  
林委員 給食の配膳方法はどのように変わるか。  
教育総務課長 配膳方法は従来から変更はない。工事後は増築校舎各階に配膳室を設け、配膳ワゴンは校舎内を移動し対応する予定である。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論なし

賛成討論なし

議案第 35 号北小学校校舎増築工事請負契約の締結については、全員が賛成。

議案第 35 号は、原案のとおり可決

## 所管事務調査

### 介護老人保健施設の開所に向けた進捗状況について

長寿課長 平成27年度に整備事業者を募集した介護老人保健施設について、開所予定の事業内容及び整備状況について報告する。

#### 1 介護老人保健施設の概要

- (1) 施設名称 介護老人保健施設 葵の園・長久手（仮称）
- (2) 場所 長久手市岩作高山 44 番地 1 外
- (3) 開所日 平成 30 年 3 月末開所予定
- (4) 事業者 医療法人社団 ちとせ会（静岡県熱海市）
- (5) 規模 ユニット型個室 40 床、多床室 60 床、合計 100 床  
（短期入所療養介護分も含む。）
- (6) 併設施設 短期入所療養介護  
（介護老人保健施設の 100 床に含む）  
通所リハビリテーション（40 名）  
居宅介護支援事業所、訪問看護  
訪問リハビリテーション
- (7) 建物概要 鉄骨造 2 階建  
敷地面積 4,514.48 m<sup>2</sup>（実測面積）、  
建築面積 2,565 m<sup>2</sup>、延床面積 4,010 m<sup>2</sup>

#### 2 進捗状況（スケジュール）

時期	実施内容
H27. 10. 5～H27. 10. 30	事業者公募
H28. 1. 28	事業者選定結果公表
H28. 7. 26	市の開発協議終了
H28. 10. 20	県尾張建設事務所の開発審査会許可
H29. 1 月下旬	建築確認申請許可
H29. 2 月	工事着工
H29. 7 月（予定）	開設準備室開設
H29. 12 月（予定）	建物完成
H30. 3 月下旬（予定）	施設開所・サービス開始

林委員 医療法人社団ちとせ会の愛知県内での展開はあるか。

長寿課長 愛知県内での実績はない。

大島委員 介護老人保健施設の施設長は、医師等の資格を持った人である

必要があるが、法人側から人材探しの計画は聞いているか。

長寿課長

7月に開設準備室を設け、事務員を募集した後、専門職種をできるだけ現地で採用したいという意向は聞いている。

伊藤委員

開所に向けたスケジュールは順調か。

長寿課長

事業者の選定までは少し遅れていたが、工事のスケジュールは順調である。

伊藤委員

当初から平成30年3月開所予定であったか。

課長補佐

事業者公募の時点では平成29年度中頃に開所予定であった。その頃から比べると半年程度遅れている。

伊藤委員

公募の際、評価基準に「地域コミュニティの核となる施設の併設」の項目があったが、予定どおり設置されるのか。また、どのような施設で規模はどれくらいになるのか。

長寿課長

公募時点で事業者からは、地域の交流するサロン、多目的ルーム及び図書交流室の提案があった。その後、県と認可の手続きを進める中で場所の変更等があり、最終的には1階に地域交流サロンを41平方メートル、2階に交流サロンを28平方メートル、図書交流室を19平方メートル、多目的ルームを72平方メートル、合計160平方メートルの交流施設を用意してもらう。

伊藤委員

その施設には自由に入出りできるのか。また管理は事業所が行うのか。

長寿課長

基本的には自由に入出りできる。管理は事業所だけではなく、地域の方が交流施設を借りることを想定すると、実施主体が地域の高齢者となる日もあると考える。今後可能性を探していきたい。

佐野委員

市は評価基準の中に「地域コミュニティの核となる施設を併設」することを盛り込んだにも関わらず、当初から今回の所管事務調査まで特段の説明がないのはなぜか。

長寿課長

交流施設の図面は事業者の用意したものであるため、今回の所管事務調査においても配布しないと判断した。

佐野委員

公募条件として盛り込んだ項目であれば、市としてどのような運営をしてほしいのか、介護老人保健施設の今後の展開を示すべきではないか。

長寿課長

公募段階では、設置する場所が市街化区域か市街化調整区域かわからない状態であった。今回応募があった市街化調整区域では、喫茶店等を併設することが困難であるため、あくまで徒歩や自転車で集まることができる地域の方を対象とした施設として法

的に認めてもらった。制約の中でできる限りの地域との連携を望んでいる。また、現段階で現場事務所がないこと、事業者と頻繁に直接話していないこと、現場管理者の採用がこれからであること等から、これらが固まった段階で具体的な市の思いを伝えていく予定である。

佐野委員 市は公募の際に、喫茶店等の地域交流の場にこだわっていたが、応募した業者の提案した場所が市街化調整区域であったため市が諦めたということか。地域交流の場は重要視していないのか。

長寿課長 喫茶店等の商業施設を併設して広範囲の方が集まる施設とすることは、今回の立地条件を考えると困難である。ただ、地域の方が集まる拠点としての設置は可能であるため、地域のコミュニティの核としての機能は担えると考ええる。

大島委員 小規模特別養護老人ホームのほしい村にはカフェがあったと思うがどうか。

長寿課長 カフェではなく地域交流スペースであったと思う。当時、障がい者の就労移行支援か就労継続支援のどちらかのサービスであり、就労の内容としてお茶やコーヒーの提供を行っているかと把握している。

大島委員 数年前に利用した際には健常者からコーヒーを提供されたが、その後行政指導があったということか。

長寿課長 所管が違うため詳しくわからないが、障がい者の就労施設であり、職員が窓口業務の手伝いをしていると把握している。

大島委員 市としてカフェができる方法を考えるべきではないか。

長寿課長 公募条件でカフェ等の交流施設を例示したが、市街化調整区域の中で一般的なカフェは難しいと改めてわかった。ただ、福祉的観点として障害者就労施設との連携はあり得る。今回の場所では調整が難しかったが、今後新たに介護施設や障害福祉施設を配置する際は募集要項の内容を考えていきたい。

大島委員 公募の際、評価基準に「緑化に関すること」の項目があったが、事業所からの提案はどのようなか。

長寿課長 緑化に関しては、高木から低木まで建物を覆うように配置されている。6メートル、4メートル、2.5メートル、1.5メートルの樹木と緑地でバランスよく配置した図面となっている。最終的な図面が完成したら、当初の図面との違いを担当課で確認していきたい。

大島委員 併設施設として訪問看護や訪問リハビリテーションがあるが、市の介護保険の中で新しい事業所としての周知はいつごろされるのか。

長寿課長 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所には周知する予定である。具体的には、年6回のケアマネサロンで介護老人保健施設に限らず、併設される訪問看護や訪問リハビリテーション等の周知をしたい。また、医療と介護の連携の場で職員同士の交流を図れるよう市としても関与したい。

大島委員 市の介護保険特別会計との関係があると思うが、来年度の予算や介護保険料等にどのような影響が出てくるか。

長寿課長 これまで施設サービスより在宅サービスの割合が高かったが、介護老人保健施設の開所に伴い今後は施設サービスが一定数増えるの見込んでいる。平成27～29年度の計画では推計で50人分の利用を見込んでいる。その分、介護保険料が高くなる設定としている。

佐野委員 今回の介護老人保健施設は、障害者就労施設としての調整が難しかった旨の発言があったが、事業者との調整はしていないのか。

長寿課長 調整はしていない。

佐野委員 なぜ調整が難しかったという話になるのか。

長寿課長 今後、このような事案があった場合には調整しなければならないという趣旨で発言した。

佐野委員 市がこだわっていた地域交流の場については、障害者就労施設を想定して調整していると理解していたが、実際は調整されていない。今の説明を聞くと地域交流の場に対する思いが薄れていると感じるがどうか。

長寿課長 今後は施設を新たに募集する段階で、事前に子育てや障がいの部署等と同一敷地に同じタイミングで募集ができるか調整し、よりよい施設整備に向けて取り組みたい。

佐野委員 今回の施設では諦めるが、今後は調整していきたいという意味か。

長寿課長 公募の段階で調整できなかったことは反省している。今回の施設は、今後できる可能性があるか調整することは可能だと考える。今後は事前に調整した上で公募条件としたいと考えている。

<休憩 10時52分>

<再開 11時00分>

## 繰越明許事業について

### 1 臨時福祉給付金事業（経済対策）

福祉施策課長 消費税率の引上げにより低所得者世帯に与える影響を緩和するため、1人1万5,000円を経済対策として給付するものである。平成28年度に国の12月補正予算で成立しており、支給期間は2月27日から5月31日までと定めて実施している。ただし、申請があれば随時柔軟に対応する予定である。支給実績は6月8日時点で約67パーセントである。今後も個別に手紙を送付し、申請を促していきたい。

大島委員 対象者は申請しないと給付されないのか。

福祉施策課長 住民税が非課税であることや扶養されていないこと等の条件の確認が必要であるため申請主義である。

大島委員 不備対応とあるが、どのような不備を指しているのか。

福祉施策課長 書類の記入漏れや添付資料の漏れ等、申請者の不備を指している。

### 2 上郷保育園改築事業

子育て支援課長 老朽化が進んでいる「上郷保育園」、障がいのある児童の通所施設としての「児童発達支援センター」及び「すぎのこ教室」を複合施設として一体的に整備するものである。現在、人口推計の作業を進めており、その結果をもとに保育ニーズ量を出して上郷保育園の適正な規模を見極めていきたい。また、補助金に関する国や県との協議としては、市街化調整区域内での開発に関することや複合機能の中で共有可能なスペースや機能についても協議している。9月末までに基本構想を策定し、用地選定の市の方針は基本構想策定の段階で決定したいと考えている。最終的に地元説明を行うことを今年度の目標としている。

伊藤委員 以前から平成28年度に整備方針をつくる、人口推計や保育ニーズ量は内部で調査できると答弁している。平成28年度に作業できなかったのはなぜか。

子育て支援課長 候補地の絞り込みについて、市の内部で移設可能な場所を調査したが、条件がまとまらず予算を繰り越すことになった。



人口推計の調査は、子育て支援課独自で行う予定であったが、次期総合計画の策定が始まり市全体の人口推計との整合性を図る必要があること、東小学校区の現実的な推計に基づき定員規模を決めていく必要があるため平成29年度に作業することとした。

伊藤委員

以前は、人口推計や保育ニーズ量を調査してから候補地の絞り込みをするという話を聞いたが、候補地の絞り込みを基準にして調整しているのか。人口推計も上位計画との整合性を図るといえるが、市の状況は毎年変わっており、その都度分析していただければいいけれどもできない。ここ2年間同じ説明をしているだけである。複合施設の方針も随分前から決まっているため、補助金に関する協議もまちづくり行程表を発表した時点でわかっている話である。市街化調整区域への建設については、市役所庁舎も介護老人保健施設も根本の法的な部分がうやむやになって遅れている。今回は絶対にそのようなことがないように調整してほしい。

子育て支援課長

平成29年9月末までの契約で基本構想の策定を進めている。これ以上遅滞がないよう全力で取り組む。また、基本構想の策定を委託している業者は建設系に強いため、市街化調整区域の法的な規制や手続きについて細部まで調査してもらっている。

伊藤委員

基本構想策定の段階で用地選定の市の方針を決定するのであれば、10月以降のスケジュールを縮めることはできないか。今後進めていく基本設計や実施設計を、来年度当初予算ではなく補正予算で確保して早期に着手することはできないのか。

福祉部長

上郷保育園の複合施設の整備は大きな事業であるため、来年度当初予算として上程する予定である。9月の補正予算となると、7月末までに調整が必要になるため難しい。9月末までに基本構想を策定し、地元への説明で場所と施設の内容を決定して、来年度の当初予算で設計に係る予算を上程したいと考えている。

伊藤委員

これまで何も進んでいないことを受け止めてスケジュールを前倒ししてほしい。また、児童館の整備はどうするのか。

子育て支援課長

機能を集約する複合施設を目指しているため、児童館との一体性についても基本構想の中で検討している。

佐野委員 児童発達支援センターの中身については何年も前から整理が進んでいないがどのようなか。すぎのこ教室についても、法に基づいた施設にできるのか十分に検討されていない。早く整理して中身をオープンにすべきではないか。

子育て支援課長 現在の市には無い新しい機能であるため、基本構想の中でどのような専門性、規模、療育の機能が必要なのか検討しているところである。

大島委員 用地選定はほぼ決まっているのか。また、児童館の機能の併設は必須だと思うがどうか。

子育て支援課長 上郷保育園の園児がそのまま小学校に上がれば放課後の居場所に直結するため、用地は東小学校の周辺で検討している。児童館についても東小学校の人口増加に対応するため、現在検討中である。

大島委員 子育て支援課だけでなく他の部署と横断的に進めていただきたい。法的な規制が厳しい場所であると思うが大丈夫か。

子育て支援課長 平成 27 年度から県の建設部や福祉部に意見を聞いている。時間をかけてきた結果を基本構想の中で取りまとめ、矛盾がないよう進めていきたい。

### 3 長湫西保育園施設整備事業

子育て支援課長 「保育園おたすけたい」の拠点施設である地域交流サロンを長湫西保育園の園庭内の空きスペースに整備し、子どもを中心とした多世代の地域の交流・つながりを生み出すことを目的とするものである。国の平成 28 年度第二次補正予算で計上された地域創生拠点整備交付金を活用した事業である。

現在、設計入札事務の作業を進めており、その後基本・実施設設計、10 月頃に入札事務・契約を行い、運動会の終了後に工事に着工する予定である。

大島委員 「保育園おたすけたい」を担う人材はいるのか。

子育て支援課長 平成 28 年度の実績は、登録者数が 60 人、延べ参加者数が 509 人であった。地域の方が子育てをサポートする新たな試みであり、継続して行うことにより地域に根差した保育園を目指していきたい。

大島委員 保育園ごとの内訳はどのようなか。

子育て支援課長 延べ参加者数が最も多い長湫西保育園は 179 人、最も少な

い長湫東保育園は 20 人であった。登録者数は、上郷保育園 15 人、色金保育園 12 人、長湫西保育園 7 人、長湫東保育園 7 人、長湫南保育園 7 人、長湫北保育園 12 人である。

#### 4 北小学校施設整備事業

教育総務課長 当初児童クラブと放課後子ども教室を増築校舎内で実施する予定であったが、運動場への影響を考慮し別棟で実施する方針となった。児童クラブ棟設計を平成 29 年 11 月 30 日までに完了する予定である。

現在、プール南東側に児童クラブ棟を計画するにあたり、測量、給食の搬入方法の検討、消防水利の移設、既設校舎の電気系統等の調査を行い、建築関係法規をクリアできる案を取りまとめている。今後の方針が決定次第、積算業務に移行したいと考えている。

大島委員 児童クラブ棟の建設予定場所は現在駐車場として使用している場所であると思うが、駐車場は何台分が無くなるのか。

教育総務課長 具体的にはわからないが、10 台程度は使えなくなる見込みである。

大島委員 1 階と 2 階を児童クラブと放課後子ども教室として利用すると聞いているが、どのような設計をしているか。

教育総務課長 プール南東側の位置であり、敷地面積は限られている。その中で関係課とどれくらいの人数になるか調整中である。

大島委員 平成 29 年 1 月 14 日の地元説明会の資料では、児童クラブ棟は、児童クラブ 1 室、放課後子ども教室 1 室、トイレ、エレベーターと表記されている。エレベーターの設置はどうなるか。

教育総務課長 小型のエレベーターを導入予定である。

大島委員 エレベーターを設置する目的は何か。

教育総務課長 利用する子どもがいると想定して設置する。

#### 5 長久手中学校施設整備事業

教育総務課長 平成 28 年度第二次補正予算で計上された文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用した事業である。今年度、校舎棟の西側である、図書室、保健室、美術室、調理室、被服室等の特別教室を中心に改修工事を行う。進捗状況として、平成 29 年 5 月 17 日に一般競争入札における開札を行い、5 月 30 日に株式会社

メイダイと契約した。6月15日に工事業者、監理業者、学校、教育総務課の4者で初回の打ち合わせを行い、工事スケジュールの確認を行った。

### 委員派遣について

委員長 平成29年8月1日、2日の2日間で視察を実施する。8月1日午後1時30分から東京都足立区うめだ・あけぼの学園において、「発達障害乳幼児の支援について」、8月2日午後1時30分から埼玉県和光市役所において、「地域包括ケアシステムについて」を調査事項として視察し、全委員参加とする。本件について、以上のとおり委員派遣とすることに異議があるか。

<異議なし>

委員長 異議なしと認める。については、所管事務調査のため8月1日、2日の両日、東京都足立区及び埼玉県和光市へ全委員を派遣することとし、議長へ派遣承認要求書を提出する。

次に、閉会中の継続調査について継続調査申出事件一覧表のとおり、引き続き閉会中も継続して調査することを提案するがよろしいか。

<異議なし>

異議なしのため継続調査とし、継続調査申出書を委員長から議長に申し出ること全委員了承。

委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

### 要望書について

伊藤委員 先ほど、上郷保育園改築事業のスケジュールを聞いたが、もっと早く整備できる状況であると思う。佐野委員から発言があった児童発達支援センターの中身をしっかりすべきということ、今後控えている長湫東保育園の再整備計画の早期策定、待機児童の解消等の内容を盛り込み、上郷保育園の早期再整備に関して委員会の意思を統一して執行部へ要望していきたい。是非同意いただき、

要望書を提出したいがどうか。

木村委員長　　ただいま伊藤委員より上郷保育園の早期再整備に関する要望書の提案があったが、異議があるか。

佐野委員　　児童発達支援センターやすぎのこ教室を含めて早期再整備することを要望に加えることをお願いした上で同意する。

大島委員　　賛成である。最近、市の計画に基づいた事業は遅滞している。委員会として念を押していくべきである。長湫北保育園の移転新築の際、現場の保育士は3月31日の土曜日まで保育して、一晩で移動しなければならない状況であった。子育て支援課職員と現場の保育士との間でも連携がとれていない。9月の補正予算の上程は難しいという話であったが、12月の補正予算で実施してもよいのではと感じた。

木村委員長　　要望書を提出することについて、異議なしということによろしいか。

<異議なし>

伊藤委員　　執行部側は委員長名での文書は受け取らないため、閉会日に全議員へ提案し議長名で提出することになる。要望書の内容は委員長と副委員長、体裁は事務局と相談する。委員には他の議員へ話していただくようお願いしたい。

委員長　　閉会宣言

午前 11 時 52 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成 29 年 6 月 26 日

教育福祉委員会委員長　　木村さゆり